

教会学校 教案ガイド

教師メモやメッセージアウトラインを読む前に必ずディボーションをしましょう。

1. みことば

祈りながら今週のテキスト(聖書箇所)を何度も繰り返し読んでください。また、今週の暗唱聖句を決定して、覚えましょう。

2. 主題の読み取り

今週のみことばの中心テーマを自分のコトバで、1つの文章にまとめて書きあらわしましょう。

例 ○:イエスさまは、弟子たちがイエスさまを救い主と信じるように
カナで奇跡を行いました。(×:カナの婚礼と奇跡)

3. 教えられたこと

今週のみことばを通して、神さまがあなたに語ってくださったことを書きあらわしましょう。

4. メッセージの作成

◇「教師ノート」と「メッセージアウトライン」を参考にしてください。

◇注意深く聖霊さまの導きに従いましょう。

教会教育部公式サイト <http://ce.ag-j.or.jp/>

教会の働きのためにご自由にお使いください。営利目的での使用は禁じます。
すべての内容の著作権は、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団教会教育部にあります。

教師ノート

日付	2020年 4月 5日
単元	イースター
テーマ	うそ
タイトル	復活を知らせないためのウソ
テキスト	マタイ28:11-15
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 第一コリント 15:14
AG 日曜学校教案参照箇所	小下1-5、小上3-6
□導入	あなたは自分がこまるからといって、ウソをついたり、作り話をしてしまったりしたことはありませんか？ 例えば、宿題が終わってないのに、怒られるのがイヤで「終わった」と言ってしまう。ともだちと遊びたくない時、「今日は家族で出かける」と作り話をして断る。
□ポイント1 祭司長たちは、兵士たちにイエス様の番をさせるようにしました	27章62～66節を簡潔に説明しましょう イエスさまが墓に納められた次の日に、祭司長やパリサイ人たちがピラトのところに集まり、墓の番をするように命じてください、と依頼した場面です。イエスさまを十字架にかけた張本人である祭司長と律法学者たちは、弟子たちが死体を盗んで、「イエスさまは復活したのだ」とでっちあげを伝えることを真剣に怖れていたのです(小上3-6p310)。人々が復活を信じれば、イエスさまの影響力が以前よりも大きくなると考えたからです。ちなみにイエスさまの弟子たちは、イエスさまが復活すると話されたことさえ忘れ、死体を盗む勇気など全くなかったばかりか、復活のニュースを聞いても信じられないほど弱きだったのです。なのに、祭司長やパリサイ人は安息日の律法をやぶってピラトの所に行くほど焦っていました。
㊦メッセンジャーは、この時代のパレスチナはローマ帝国から直接派遣され駐在していた総督ピラトの支配下にあったことを理解しておきましょう。番兵はピラトの管轄下にあるローマ兵でした。祭司長や律法学者で構成される議会(サンヘドリン)はローマの支配下で内政を担当していました。	
㊦語句の説明:こどもたちにわかる表現の例	<u>パリサイ人</u> :規則(律法)を厳しく守る学者たち。聖書にはくわしいけど、規則だけにこだわって、他の人たちを見下げる態度だったので、それをイエスさまに批判され、対立していた。 <u>祭司長</u> :昔から受け継がれてきた地位で、いけにえをささげる儀式などを行なったり、人々の指導をしたりする立場の人たち。 <u>封印</u> :お墓の扉に印を押したひもや粘土をつけた。封印のある墓を開くと犯罪。
□ポイント2 兵士たちはイエス様が復活したことを知りました	28章1節～11節を説明しましょう。(㊦メッセージ参考アウトラインでは、特に番兵たちの動きを中心に説明しています。「空の墓」については前々回のテキストで既に詳しく取り扱っています。)
㊦「大きな地震が起こった」、「いなずまのように輝き」、「震え上がり死人のようになった」などは、こどもが興味を持ちやすい表現です。記事の臨場感が伝わるように、ダイナミックにお話ししましょう。	

👉ここでメッセンジャーが理解しておくべきこと

- ①「死人のようになった」は、しばらく体が硬直して動けなくなった状態。
- ②石を動かしたのは、イエスさまが出るためではない。（すでに墓の中にイエスさまはいなかった。どの時点でイエスさまが復活したのかはわからない）
- ③マルコ・ルカの記事と照らし合わせると、天使が石をころがし、番兵が逃げたあと、女たちが到着したのだと考えられる。
- ④兵士たちは、ウソをついたのではなく、「起こった事を全部」報告した。

☆兵士たちは、どんな気持ちだったか、こどもたちといっしょに考えましょう。

□ポイント3 兵士たちはお金でうそを言うようにさせられました

祭司長たちは、兵士たちが言っていることが本当かどうかも確かめず、多額のお金を渡しました。（任務中に居眠りをした番兵は死刑になる可能性があったのに、兵士たちがお金をもらってウソを言いふらしたということは、相当たくさんのお金をもらったことが推察されます）彼らはキリストの復活を人々に知られないようにするのに必死だったのです。さらに総督さえも説得すると約束するほど、必死でした。兵士たちはイエスさまの体が弟子たちに盗まれないように墓の番をしていたのに、結局は彼ら自身が復活の目撃者となっただけでなく、自ら「イエスさまの体が盗まれた」と言いふらす皮肉な結果となったのです。

□結論 イエス様がよくえられたことを知っていながら、嘘だと言いつらす人たちがいました

祭司長たちは、イエスさまを裁判で有罪にし、十字架にかけて殺すという、悪い計画を実行して成功しました。ところが、イエスさまのチカラは、彼らの計画をはるかに勝るものでした。死を打ち破り、イエスさまはよくえったのです！ 勝利のイエスさまをほめたたえましょう！！

□適用

マタイがこの福音書を書いているとき（イエスさまの復活から約40年から70年が過ぎた頃）にも、祭司長たちの、ウソの作り話を信じている人がたくさんいました。たしかに、イエスさまが復活したことは、科学で証明できないし、物的証拠もありません。

☆あなたは、「イエスさまは復活した」と言っている聖書のことばを信じますか？ それとも、「復活なんてあるわけない」という世間のことばを信じますか？

☆13節の祭司長たちの作り話の矛盾点について、こどもたちといっしょに考えてみましょう(オマケ)

兵士たちが眠っていたのなら、どうして盗みにきたのが弟子たちだとわかったのでしょうか？ もし、盗みに来たのが弟子たちだと気付いていたなら、兵士たちはその場で弟子たちを捕まえたはずではないでしょうか？

教師ノート

日付 2020年 4月12日

単元 イースター

テーマ 死への勝利

タイトル 墓からよみがえったイエス様

テキスト ルカ24:1-12

参照箇所

暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)

ヨハネ11:25

AG 日曜学校教案参照箇所

小上1-5

□導入

メッセージを始める前に、①4月はイースターに関するお話を聞くことを伝える、②十字架から埋葬までの経緯を説明するなど、必要に応じて前置きをしましょう。(ヨハネ19:32~35、ルカ23:49~56を参照してイエスさまは完全に死んで間違いなく葬られたことを確認しましょう)

□ポイント1 女の人たちは、イエス様のからだがお墓の中に見てきました

ユダヤ人の安息日は金曜日の日没に始まりました。イエスさまの体を十字架から降ろしたのは安息日の始まる直前で、葬りのために十分な準備をする時間がありませんでした。ですから、女たちは最小限必要なことだけをして、安息日が終わるのを待っていたのです。(小学科上級1巻343参照)〈週の初めの日〉は日曜日ということになります。女たちは待っている間、居ても立ってもいられなかったことでしょう。

☆「女たちが途方にくれて」いた(4節)理由について、こどもたちといっしょに考えましょう。

新約時代のユダヤのお墓(イエスさまのお墓)は、岩を掘って作る横穴式が一般的でした。埋葬については日本の習慣と違う点を理解しましょう。火葬ではなく、香料をぬって、布をまき、そのままお墓に入れます。お墓の中は人が入れるくらい大きくて、その入り口は、大きな岩でふさがれます。

女たちはイエスさまの復活について聞いていたはずなのに、それを全く理解していませんでした(ルカ9:22, 44~45、13:32~33、18:32~34)。天の御使いに叱責され、女たちはそれを思い出しました。

□ポイント2 ペテロもイエス様のからだがお墓にないのを確かめました

女たちはそれを11弟子に伝えましたが、彼らはそれを「たわごと」(原語では精神錯乱によるうわごと。英訳ではおもにナンセンス)だと思い信じませんでした。

ペテロは実際に確かめに行きましたが、やはり墓は空っぽでした。「かがんでのぞきこんだところ、亜麻布だけがあつた」とはっきり状況が描かれてきます。このことから、先の女の人たちが見間違えたとか、幻影を見たとかではなく、本当に墓が空っぽだったことが読み取れます。(12節がかっこ書きになっているのは、この節を欠いている写本があるためです)

□ポイント3 イエス様は、死に勝利されました

お墓が空っぽだったという、このテキスト全体の内容から、自然と「イエスさまは復活された」という結論に導かれます。

(少なくとも、女たちが墓を間違えたのではないこと、弟子たちがイエスの体を盗んだのではないことがわかります。)

イエスさまは死に打ち勝ったチカラある神の子(ローマ1:4)だからこそ、私たちに永遠の命を与えることができるのです。(1コリント15:45)

もし仮に、イエスさまが復活しなかったのなら私たちの罪は赦されていないので永遠の命はありません(1コリント15:17、ローマ4:25)。しかし、今週のテキストからもわかるように、「イエスさまは墓からよみがえった」のです。

イエスさまが死に打ち勝って墓からよみがえられたのと同様に、私たちもよみがえるのです。(今やキリストは、眠った者の初穂として死者の中からよみがえられました。1コリント15:20)

☞「メッセージ参考アウトライン」では、「キリストの復活と信者の永遠の命の関係」について、参照聖句を開いて説明する時間をとっていませんが、メッセージをする教師は、これらの箇所を読んで、確信をもって復活を語れるようにしましょう。

□結論 イエス様は死に勝利されよみがえられて、今生きておられます。イエス様がよみがえられたように、わたしたちもよみがえります。

☆どうすれば、永遠の命を得ることができるのでしょうか？ こどもたちに自由に考えさせたあとで、暗唱聖句を読み上げます。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

□適用

☞希望のメッセージで締めくくります 例…

「イエスさまを信じる人にとって、死ぬことは、怖いことではありません。死ぬのが怖い人や、死んだ後どうなるのか心配している人はいませんか？ クリスマスは、死んでも天国へ行って永遠に幸せに生きるのです。」

「病気になってあと少しの命だとわかって、希望に満ちていられるのはダレでしょう？ そんなことができるのは、イエスさまを信じて永遠の命をいただいているクリスマスだけです。」

教 師 ノ ー ト

日付	2020年 4月19日
単元	イースター
テーマ	信仰
タイトル	復活を信じなかったトマス
テキスト	ヨハネ20:24—29
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) ヨハネ20:29
AG 日曜学校教案参照箇所	小下3-5 小下2-5 幼稚2-3
□導入	<p>メッセージの本題に入る前に、「今、外は雨が降っているよ」と言われたらどうしてそれを信じますか？あなたは、イエスさまが復活して今も生きているということをどうやって信じますか？どうやって証明しますか？など問いかけると、興味を起すことができるでしょう。</p> <p>☞復活の証拠についての例話(小上第3巻p309参照) 2人の学者がイエスさまの復活がウソだということを証明しようとして研究をはじめたところ、2人とも、逆に復活は事実だという結論に導かれたというお話</p> <p>☞「復活」を堂々と語ること(まして聞く人に理解させること)は、どんな熟練したメッセンジャーでも容易なことではありません。聖霊によるチカラと確信をもって語れるように充分お祈りしましょう。</p>
□ポイント1 トマスはイエス様がよみがえったことを信じませんでした	<p>20章19節～23節の経緯を簡潔に説明しましょう。教案幼稚科2巻のp156～157にわかりやすい要約があります、参考にしましょう。</p> <p>☆25節のように言ったトマスはどう思うか、こどもたちに問いかけましょう。疑い深い？素直？不信仰？勇気がある？ガンコ？合理的？ (ヨハネ福音書におけるトマスのキャラクターについては11:16と14:5の言動も参照)</p>
□ポイント2 トマスにイエス様は現われてくださいました	<p>弟子たちは、イエスさまを失って望みを失っていたばかりか、自分たちも逮捕されるかもしれないという恐怖からカギをかけた家の中にもっていました。</p> <p>イエスさまの復活の体は戸を通り抜けることができる霊の体である(1コリント15:35-49)と同時に、地上での肉体と同じように十字架の傷跡がありました。</p> <p>イエスさまはトマスの極めて個人的な要求に、応えるため、トマスのためだけに現れてくださいました。イエスさまは私たちひとりひとりの思いを大切にしてくださるお方であることがわかります。また、「信じる者になりなさい」と言われているように、復活を正真正銘に信じることは、わざわざイエスさまが個人的に現れてくださるほど、非常に重要なことなのです。復活を信じられない人が、信じられるように助けてくださるのは、復活のイエスさまご自身なのです。</p>

□ポイント3 見ないで信じる人が幸せな人です

トマスは触ることを要求していましたが、実際には見ることで信じました。（「私の神、私の主」という明確な告白は新約聖書中でも数少ない重要なものです。）しかしイエスさまは見ないで信じるものは幸いですといわれました。

イエスさまは目に見える証拠や理論的な説明によってではなく、弟子たち（キリストの証人）がイエスさまのことを伝えて、聞いた人がそれを信じるというやり方を、喜ばれます。

イエスさまは目には見えませんが、生きてはたらいしておられます。イエスさまは弟子たちの証しを聞いただけでは信じることができなかつたトマスに、「見ないで信じるものは幸いです」と言われました。私たちも、目に見える証拠や理論ではなく、聖書に書いてある証言を信じる時、幸いなのです。

□結論 トマスと同じように、私たちも目に見えないイエスさまを信じていきましょう

□適用

あなたは、「死人が復活するわけがない」とか、「証拠がないのなら復活は信じられない」とか思っていますか？ また、「信じたいのに、どうしても素直に信じられない」とか、「心のどこかで疑ってしまっている」という人はいませんか？

だいじょうぶ、イエスさまは、そんなあなたを助けてくださいます。

イエスさまの復活を信じて生活していれば、イエスさまがあなたのそばにいることに気が付くときがあるはずですよ。

そのために、日ごろ「当たり前」と思っていることに目をとめよう。

遠足や運動会の日にお天気がよかった…ママがお菓子を買ってくれた…カゼが治った…など、これってイエスさまかも…と感謝してみよう。

「見ないで信じる人が幸いです」…って言うのは本当ですよ。でも、だからといって、イエスさまを感じることができないって言うてるんじゃない！ イエスさまは目には見えないけれどいつもあなたと一緒にいてくださいます。トマスのように、イエスさまを体験したいという思いで、信じて生活していれば、きっとあなたにも「イエス様が生きている本当の神様だ！」ということがわかるよ。

そして、体験したことを、おともだちや家族に証ししよう！

教 師 ノ ー ト

日付	2020年 4月26日
単元	イースター
テーマ	信仰
タイトル	不信仰な弟子たちでも用いてくださるイエス様
テキスト	マルコ16:1—16
参照箇所	暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) マルコ16:15
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 3-1 幼稚2-3
□導入	興味を起す質問をしましょう。 例: あなたがもしサッカー日本代表の監督だったら、どんな選手を選びますか? 能力の高い人や、監督の言うことをちゃんときく人を選ぶのが普通ですね。イエスさまだったら、どんな人を選ぶのでしょうか?
□ポイント1 弟子達は、イエス様がよみがえられたことを信じられませんでした	1~9節の説明、前回までの復習として簡潔にしましょう。 アウトラインは特に10節を取り上げます。強調したい点①弟子たちはイエスさまを十字架で失い、失望していただけでなく、自分たちも逮捕されるかもしれないという恐怖からカギをかけた家の中にこもっていました(ヨハネ20:19) ②弟子たちはイエスさまが復活するという教えを忘れて、マリヤの証言を聞いても信じようとしませんでした。
📖メッセンジャーが理解しておくこと	マグダラのマリヤ: 7つの悪霊を持っていたがイエスさまいやされた女性。イエスさまに従った大勢の献身的な弟子のひとり。(ルカ8:1-3) イエスさまに出会った「ふたり」については、24章13~35章を読みましょう。
□ポイント2 信じられなかった弟子達の前に、イエス様は現われてくださいました	☆イエスさまはどうして弟子たちを叱ったのでしょうか? こどもたちといっしょに考えましょう。 イエスさまを伝える人になるはずの弟子たちが、復活のことをきいてもすなおに信じなかったからです。弟子たちは「不信仰」で「かたくなな心」でした。弟子たちはイエスさまが「人間」というかたちで目に見えているときだけはイエスさまを信じて従っていましたが、十字架にかかれた後は、復活のニュースを聞いても信じませんでした。他の弟子が「イエスさまを見た」と証したとき信じるべきでした。
□ポイント3 信じられなかった弟子達なのにイエス様は大事な命令を与えてくださいました	イエスさまは弟子たちを叱りましたが、見捨てることはせず、返って大切な使命を任せてくださいました。 ☆イエスさまはどんな仕事を弟子たちに与えましたか? こどもたちといっしょに考えましょう。 イエスさまは天に帰るのです。そして今度は弟子たちが救いを伝えるのです。イエスさまの働きは天国の本部から、地上にいる弟子たちを通して行なわれます。(小上 3-1p11参照) 神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです(1コリント1:21)

⑤ ウィリアム・アーノットのことば小上 3-1p10も参考にしてください。(神さまはそのすばらしさを稲妻で空に書いて示すような方法ではなくて、弟子たちの生涯そのものを通して、福音が伝えられることを願っておられます。)

11弟子でさえ、不信仰でイエスさまに叱られました。 私たちも不完全なものですが、イエスさまは私たちに、みことばを伝える人になって欲しいと願っておられるのです。 こんなに小さくて弱い私たちを用いてくださることを知るとき、私たちは励ましと勇気をいただくのです。

□ **結論** イエス様は弱い私たちでも見捨てないで、神の国の拡大のために私たちを用いてくださるお方です

私たちに大切な役割を任せてくださるイエスさまに感謝しましょう。 そしてイエスさまに言われたとおり、みことばを伝えていきましょう。 イエスさまは今も生きて私たちとともにいてくださり、その仕事を助けてくださいます。

□ **適用** あなたの周りにいる家族やともだちで、まだイエス様を知らない人たちの名前と顔を思い浮かべて祈ろう。 イエス様はあなたに、その人たちを教会に誘って欲しいと望んでおられます。

イエスさまを信じる人はみな天国へ行けます。 しかし私たちのまわりにはイエスさまをまだ知らない人がたくさんいます。 イエスさまのことを聞いたことがない人は、当然イエスさまを信じることができません。 あなたは誰に福音をつたえますか？